

令和7年度 児童生徒の声の収集 ～聞かせてください！！みんなの気持ち～【まとめ】

# こどもたちを見守るあなたへ

## ～ 地域との関わりについての「みんなの気持ち」～

小中学校を訪問し、地域の方がサポートする活動や授業、地域で行われる行事などを参観し、地域の方々の思いやこどもたちの気持ちを聞きました。

仙台市こども若者局 いじめ対策推進課

### 児童生徒の声の収集について

当課では、社会全体でいじめ防止等に取り組む意識の醸成を図るため、「児童生徒の声の収集～聞かせてください！！みんなの気持ち～」事業を実施しております。

今年度も、児童生徒の「自己有用感」及び「自己肯定感」を高めている地域交流の取組について、市立小・中学校 10 校で取材を行いました。

### 今年度の取材協力校

#### 【青葉区】

仙台市立愛子小学校  
仙台市立五城中学校

#### 【宮城野区】

仙台市立新田小学校  
仙台市立鶴谷中学校

#### 【若林区】

仙台市立大和小学校  
仙台市立六郷中学校

#### 【太白区】

仙台市立湯元小学校  
仙台市立中田中学校

#### 【泉区】

仙台市立泉松陵小学校  
仙台市立将監中学校

### 自己有用感と自己肯定感について

#### 【自己有用感と自己肯定感とは？】

「自己有用感」と「自己肯定感」という用語の定義は研究によって様々であり、教育学研究においてもその意味が統一されているわけではありません。本報告書では、「自己有用感」とは、「他者のために役立った、認められたという感覚」※とします。また、「自己肯定感」とは、「ありのままの自分を肯定的にとらえる感覚」※とします。

※ 引用:「生徒指導提要」(文部科学省 2022)

#### 【自己有用感といじめ防止】

文部科学省※は、『主体的に取り組む共同的な活動を通して、「自己有用感」を児童生徒全員が感じとれる“絆づくり”を進めることができれば、いじめに向かう児童生徒は減ります』と提言しています。

※引用:生徒指導リーフ「いじめの未然防止Ⅱ Leaf.9」文部科学省(2015)

#### 【自己肯定感といじめ防止】

ある教育心理学研究※では、『自己肯定感が高いこどもほど、いじめに関わりにくい傾向があること等』が報告されています。

※参考:「いじめる・いじめられる経験の背景要因に関する基礎的研究」(教育心理学研究 伊藤美奈子 2017)

【愛子小学校「ランチミーティング」の取組】



ランチミーティングで給食を食べながら熟議をする地域の方と子どもたち

**ランチミーティング** 愛子小学校では、地域の方と児童が給食を共にしながら、自分たちの学校生活における課題をテーマに、その解決策を考える話し合い活動を毎年1回行っています。今年度は、夏休み前に、地域の方々と6年生代表児童が給食を囲みながら、「メディアコントロールのアイディア」に関する熟議を重ね、たくさん意見を出し合うことができました。

**こどもの声** 自分に自信がなかったけれど、思い切って発表したときに「その考え、いいね」と言ってもらえて、とてもうれしかったです。また、何か行動したときに「ありがとう」と言われた瞬間、自分の行動が誰かの役に立ったのだと実感できて、心が温かくなりました。

**地域の声** 子どもたちのために、学校と協力して活動していきたい。子どもたちの喜ぶ姿を見ると、私も元気になります。だからこそ、子どもたちに恩返ししたくなる。その好循環が活動の原動力です。

【五城中学校「Gojoボランティア」の取組】



「おやじの会」顧問から薪割りを教わる子どもたち

**Gojo ボランティア** 五城中学校では、仙台東照宮のお堀清掃、東照宮境内や児童館で行われるお祭りのお手伝い、地域でのあいさつ運動など、地域に根差した様々な活動を「Gojoボランティア」として行っています。今回取材したのは、北六番丁小学校で行われた「学校に泊まろう」（おやじの会主催）の催しをサポートする中学生の活動です。

**こどもの声**

- ・ 薪割りの時に、小学生から「ありがとう」「頑張ってるね」と言われて、頑張ることができました。地域を発展させる活動をしていきたいです。
- ・ 自分たちで考えたことに対して、感謝されるのはとてもうれしいことでした。

**地域の声** 子どもたちの『やりたい』という思い、『楽しかった』という声、そして自分たちも楽しいから、活動を続けています。

## 【新田小学校「新田五町内合同盆踊り大会」の取組】



模擬店でスーパーボールすくいを運営する6年生の子どもたち

**合同盆踊り大会** 毎年8月、新田小学校で開催される盆踊り大会は、地域の温かなつながりが感じられる特別なひとときです。今年はブラスバンド部の演奏で幕を開け、各種演技や、模擬店で会場は笑顔と熱気に包まれました。特に、地域を支える力強い一歩として、小学6年生が自分たちで模擬店の企画・運営に挑戦するなど、頼もしい姿を見せてくれました。

**こどもの声** 模擬店の準備では、クラスの間とアイデアを出し合ったり、協力して作業したりするのがすごく楽しかったです。地域の人から「頑張ってるね」と声をかけてもらったり、下の学年の子から「ありがとう」と言われたりして、とてもうれしい気持ちになりました。

**地域の声**

- ・ 子どもたちは地元のお祭りに参加することで、地域の一員であることを自覚できます。
- ・ 大人から子どもへ、そして子ども同士で温かく関わり合う循環が地域に生まれます。

## 【鶴谷中学校『チーム「ニコ鶴」プロジェクト』の取組】



地域の mini マルシェに出店をする子どもたち

**チーム「ニコ鶴」プロジェクト** 鶴谷中学校では、地域の人と人がつながり、お互いに支え合える絆がある地域を目指し、中学生がチーム「ニコ鶴」プロジェクトとして活動を行っています。令和7年度は、地域の mini マルシェに出店するなど、中学生の取組が地域を盛り上げました。

**こどもの声**

- ・ 一人ひとり意見を出して、その意見を尊重し合っていたと思います。
- ・ 鶴ヶ谷地域の現状を知ることができました。年齢を超えた関わりが少ないと感じたので、企画を通して、地域の交流の場を増やしていきたいと思いました。

**地域の声** 地域には、中学生が笑顔でイベントに参加することで活気が生まれるという大きなメリットがあります。中学生は、地域の方々からの感謝の言葉を受けて、大きなやりがいを感じます。

## 【大和小学校「わくハピ交流会」の取組】



地域の方々と「昔遊び」をする  
こどもたち

**わくハピ交流会** 大和小学校では、地域の方々との交流を目的とした「わくハピ交流会」を実施しています。この交流会は、今回で3回目の実施となります。令和7年度は、児童会のお祭り「大和まつり」と一緒に行くこととなり、6年生が地域の方々を招待しました。交流会当日は、ご高齢の地域の方々も安全に、楽しく参加できるような企画が準備されていました。

**こどもの声**

- ・ お年寄りを楽しませるように工夫してたくさんのお年寄りが来てくれたので、これからも交流会を続けていきたいです。
- ・ 自作の体操を楽しくやってくれていて、たくさんほめてくれて、とてもうれしかったです。

**地域の声** 地域づくりや高齢者福祉だけではなく、小学校はこの街の福祉の起点にもなってもらっています。こどもたちのおかげです。この関わりが伝統になってくれるとうれしいです。

## 【六郷中学校「ROKUGO TIME」の取組】



介護老人保健施設に設置する毛糸壁画  
制作のお手伝いをするこどもたち

**ROKUGO TIME** 六郷中学校では、毎週水曜日の午後を「ROKUGO TIME」と称して、生徒自身の自主的な活動の時間としています。活動内容は、地域ボランティアへの参加、学級課題等の解決に向けた会議、自主学习、部活動となっており、生徒主体で行っています。地域ボランティアについては、地域の7施設がこの活動に協力しています。

**こどもの声** 今までボランティアに参加しようと思えなかったけど、学校が参加する機会を作ってくれたことで参加してみたいと思いました。ボランティア活動に参加し、地域の人と関わるようになったことで、地域活動にも貢献できていると感じることができました。

**地域の声** 介護老人保健施設に若い学生が来られる機会が少なかったため、入所者の方々もこどもたちと関われる機会があるとうれしそうにしており、施設としてもありがたいと感じています。

【湯元小学校「ホテルでの職業体験」の取組】



ベッドメイキングを教わるこどもたち

**ホテルでの職業体験** 湯元小学校では、地元の旅館やホテルの仕事について理解を深めようと、毎年6年生が地元のホテルで職業体験を行っています。10年以上続いている取組で、ホテルの仕事について説明を受けた後、実際にベッドメイキングの作業を体験してもらいます。体験する中で、「仕事の大変さ」や「おもてなしの心の重要性」を学んでいます。

**こどもの声** ホテルの仕事のことをもっと詳しく知れたし、クラスメイトと協力してベッドメイキングができてうれしかったです。分かりやすくそして優しく教えてくださったので初めてベッドメイキングをしたのですがきれいにできたと思っています。

**地域の声** ホテルや旅館は多くの人がいないと成り立ちません。様々な業種の方のお力があって成り立ちます。こどもたちがこの秋保に戻り、活気ある町づくりに参加してほしいと思っています。

【中田中学校「にこにこカフェ」の取組】



にこにこカフェで高齢者の方に給仕をすることも

**にこにこカフェ** 中田中学校区では毎年9月頃、中田地区社会福祉協議会・中田包括支援センター・中田市民センターの3団体が協力し「にこにこカフェ」を開催しています。このカフェは、認知症の方が安心して過ごせる居場所を作り、地域とともに認知症について学び合うことが目的です。中田中学校の生徒たちも、地域の一員として活躍します。

**こどもの声** 地域の方が昔の中田地区についていろいろなお話をしてくださり、たくさんを知ることができて、とても楽しい時間でした。準備や運営を最後までやり遂げたことで、「自分にもできるんだ」という自信を持つことができました。

**地域の声** 地域の中で、こども一人ひとりが主役になれる場をつくることで、お互いを信じ合えます。

【泉松陵小学校「ふれあい講座」の取組】



地域の方々から「バルーンアート」を学ぶ子どもたち

**ふれあい講座** 泉松陵小学校で行われている「ふれあい講座」とは、様々な特技を持っていらっしゃる地域の方々から講師となり、子どもたちと一緒に活動する取組です。今年度は「お琴」「将棋」「フラワーアレンジメント」「昔遊び」「茶道」「木の実クラフト」「太極拳」「バルーンアート」「手芸」「ダンス」「すずめ踊り」「ヨガ」の12講座が用意され、4年生以上の子どもたちが参加していました。

**こどもの声**

- ・ 地域の皆さんも分かりやすく教えてくれて楽しかったし、昔の遊びや昔は飴を砕いてみんなで分け合って食べるということを学べてよかったです。
- ・ 講座の人たちがものすごく温かい目で見えてくれてすごく楽しくできました。

**地域の声** 地域の方々も子どもたちから力をもらっています。学校に来て、子どもたちと関わることで元気になると思います。関わってくださる地域の方々、みんなそうですよ。

【将監中学校「CoCo活」の取組】



新体カテスト「シャトルラン」のペースメーカーを務める子ども

**CoCo活** 将監中学校では、平成27年度から「地域貢献体験活動」を継続して行っています。この活動は、「将監中の生徒が地域の行事を支援する取組」であり、地域の皆様にも「CoCo活(ここかつ)」という愛称で親しまれています。今では、将監地区の誇れる特色のひとつとなっています。

**こどもの声** 新体カテスト補助員として、小学生と積極的にコミュニケーションをとったり、アドバイスを送ったりすることもできました。小学生からは「ありがとう」「またね」「頑張ってるね」などの声を掛けてもらい、大きなやりがいを感じました。

**地域の声** 小学生時代に支えられた子どもたちが、中学生になって今度は誰かの力になりたいと参加してくれることが、この活動のすばらしさです。

## 【愛子小学校】

愛子小学校では、『いつもこどもを真ん中に』を活動理念とし、学校(教職員)、家庭(保護者)、そして地域の三者がつながり、協働して子どもたちの豊かな成長のための仕組みを構築しています。その中でも、地域との交流活動は、子どもたちの様子に目を配る大人の数を飛躍的に増やすことができ、いじめの未然防止や兆候の早期発見の可能性が高まり、地域全体でいじめが起りにくい環境をつくるのが可能になると思います。

## 【新田小学校】

地域の方々と子どもたちが共に楽しみながら活動することで、顔を覚え合い、自然なあいさつや声掛けが生まれます。そのつながりは、子どもたちに安心感を与え、地域全体に温かな目が広がります。見守りの輪が広がることは、いじめの未然防止にもつながり、地域の絆がさらに深まっていくと考えます。また、子どもたちは、模擬店の内容を決める際に、お互いの考えを尊重し合いながら折り合いをつける力を学ぶことができました。

## 【大和小学校】

地域の方々との交流活動を通じて、子どもたちは、地域の方々から『見守られている』、『ありのままの自分を受け入れてもらっている』という安心感が生まれていると感じています。また、多様な価値観に接することで、自分とは違う『異質なもの』への寛容さを育てていくことができると思います。地域の方々から『できない部分』への想像力を持つことで、ケアの精神の育成についても、大変効果があると感じています。

## 【五城中学校】

Gojoボランティアの活動は、子どもたちが地域社会の一員としての自覚を育むことや、幅広い世代の方々との関わりを通して社会性や人間性を育むことにつながっています。活動をする中で達成感を得たり、地域の方などから感謝の言葉をかけられたりすることで、自己肯定感や自己有用感を高めることができ、いじめの未然防止につながると考えています。

## 【鶴谷中学校】

チーム「ニコ鶴」プロジェクトの活動は、生徒が自ら地域に発信を行い、人を楽しませる経験ができる場となっています。学年の違う生徒や地域の大人との関わりを通じて、子どもたちは多様な価値観を知り、受け入れられるようになっていきます。そして、話し合いを重ねて企画を形にし、感謝されるという経験は、子どもたちの自己有用感を高めていると考えています。

## 【六郷中学校】

学校生活以外の体験活動を通じて、多様な生活環境にある生徒の自己肯定感とコミュニケーション能力を向上させるとともに、自身の存在価値に気付かせ、自身の生活をより良いものにする力を身に付けさせることが大切です。学校生活においても生徒同士が思いやりの心を持って生活できるようになってきていることではないかと考えています。

## 【湯元小学校】

たくさんの地域の方々に支えられているという感謝の心や、自分たちの地域を大切にする気持ちを育むことができます。子どもたちと地域の方々が交流することで、『顔の見える関係』を築ことができ、様々な場面での声掛けや見守りなど、地域の力の大きさを感じています。職業体験以外にも、「秋保の田植踊(湯元の田植踊)の伝承活動」など、地域の方々を講師とした学習活動を、年間を通して数多く取り入れています。

## 【中田中学校】

子どもたちが地域で活躍する機会をいただくことで、学校内だけでなく地域からも温かい評価を受け、子どもたちの『自分は役に立てる』という思いが育っています。校内の慣れた相手や教室内での関わりではなく、地域の方との交流は、子どもたちの存在感を大きく高める力があります。相手の立場に立ち、自分にできることを精一杯やり、喜んでもらえる経験は、互いに認め合う心を育み、いじめの予防にもつながると考えています。

## 【泉松陵小学校】

地域の方々と子どもたちの距離がとても近いと感じています。子どもたちは地域の方々に挨拶もするし、顔もよく知っています。地域の方々が温かく関わってくださるので、子どもたちは素直に関わることができます。地域の方々との触れ合いは、多様な価値観に触れるよい機会となっています。子どもたちには、地域の方々がどのように生活し、働いていらっしゃるかというところを、もっと幅広い目で見てほしいと思っています。

## 【将監中学校】

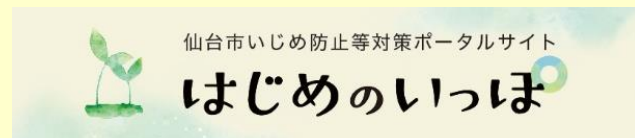
CoCo活は、子どもたちにとって、学校教育だけでは得られない多様な経験や価値観に触れる貴重な機会となり、社会性を育むことにつながります。特に、さまざまな場面で『ひとのため』『地域のため』にボランティア活動を行うことで、心が『さわやかに』『豊かに』なると考えています。地域住民が学校と連携し、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えることは、いじめの未然防止にもつながると思います。

本市では、社会全体で子どもたちをいじめから守る意識を醸成し、未来を創るかけがえのない子どもたちがいじめによって悩み、苦しむことなく、安心して学び、健やかに成長することができるまちを実現することを目指し、仙台市いじめの防止等に関する条例(平成 31 年)を制定しました。

今回の取材を通じて、子どもたちの笑顔、そして地域の方々や学校教職員の「子どもたちを安心して成長させたい」という思いに触れることができました。まさに、社会全体で子どもたちをいじめから守るための取組の好事例であると感じています。

今年度、ご協力いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

学校ごとにまとめた記事も、仙台市いじめ防止等対策ポータルサイト「はじめのいっぽ」に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



仙台市いじめ防止等対策ポータルサイト「はじめのいっぽ」では、いじめの防止等に関する様々な情報を発信しています。



URL:<https://sendai-ijimetaisaku.jp/>

仙台市子ども若者局いじめ対策推進課

☎ 022-214-8974